

3月の園だより

令和6年2月29日

杉並区立西荻北子供園

園長 石床 美穂子

「安心感の輪」～心の基地としての大人の役割～

園長 石床 美穂子

2月に、3歳うさぎ組は子ども会を、4歳くま組と5歳ぞう組は音楽会を行いました。日ごろから子どもたちが楽しんでいた表現・歌・楽器遊びなど、それぞれの学年の育ちに合った内容で子どもたちと進めてきたものを保護者の皆様に見ていただきました。

行事ごとのアンケートにもご協力いただき、子どもたちへのメッセージも丁寧に書いてくださいます。ありがとうございます。保護者からのメッセージを子どもたちはいつもとてもうれしそうに聞いています。また、先生たちにとっても保護者の皆様の感想から、共に成長を感じ合えたり、保護者の方のお子さんや園に対するあたたかい思いが伝わってきたりし、とても励みになります。保護者の皆様が子どもたちに愛情を注いでいらっしゃる事が、よく分かります。

毎朝、門の前で、登園してくる子どもたちを迎えるとき、園の前の南北に延びている道の向こうから、親子で手をつないで歩いていたり自転車で来たりする姿を見ることができます。ときには楽しそうにおしゃべりをして、ときには園で何かをつくろうと大きな袋にたくさんの空き箱を入れて持って・・・朝の子どもたちの姿は様々です。お家の方と一緒に、元気に子供園に来てくれていることをいつもうれしく思っています。

登園の風景から、東京大学の遠藤利彦先生のご講演で、“子どもが不安な時や感情が乱れた時に、特定の誰かといると安心感をもてることは、幸せの形成に大きな役割をもつ。”と話されていたことを思い出します。これはアタッチメント（愛着）と言われるものです。大人の関わりによって、自分は人に愛してもらえる価値があるという感覚や自分を信じていいという感覚をもつことができます。これは、人が一番最初に身に付けておくべき人としての土台となります。

子供園では、先生が無条件で受け入れてくれていつもそこにいてくれること、あたたかい関わりや何かあったときに心を立て直して遊びに向かわせてくれることなど先生の存在はとても大きく土台づくりにつながると伺い、保育者としてそのような関わりができるよう努力したいと思いました。

子どもたちが安心感の中で育っていくと、少しずつ大人から離れても大丈夫になってきます。3歳うさぎ組は、先生と一緒にいることで安心して過ごしていましたが、少しずつ子どもたちだけでも遊びを楽しむようになってきました。4歳くま組は、互いの思いを出しながら友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じています。5歳ぞう組は、遊びの仲間はもちろん、学級の友達と互いのよさに気づき、受け入れ合いながら自分たちで生活を進めるようになってきました。子どもの成長・発達によって、輪が広がっていきませんが、何かあったときに戻れるところ、応援したり励ましたりしてもらえる安心の基地としての保育者の存在は変わりません。子どもたちが一人で歩いていくことを見守りながら、いつでも戻ってこられる安心感の場でありたいと思います。

就学、進級と新しいスタートを前に、集大成の3月です。伸びていこうとする力が子どもたちの中でむくむくと育っています。でも、少し不安もあるかもしれません。3月も子どもたちの心の基地であるように、職員一同力を尽くしてまいります。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

誘い合って友達と氷鬼をしたり、鉄棒をしたりなど、寒い中でも園庭や散歩先の公園で繰り返して体を動かしています。他にも、体づくり運動で教わった巧技台の運動遊びにも喜んで参加しています。今月も、散歩先や園内でも体を動かして遊ぶことを楽しんでいきたいと思います。

製作遊びも楽しくなり、ひな人形をつくっていると「つくるの楽しいね!」という声が上がりました。子どもたちの「楽しい」という思いを大切にしながら、進級へも期待感をもてるようつなげていきたいと思います。

<今月のねらい>

○やりたいことを言葉や動きで伝えようとしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

○春への季節の変化も感じながら、進んで戸外に出て体を動かして遊ぶことを楽しむ。

○進級することに期待感をもち、身の回りのことを自分で行おうとする。

<家庭との連携>

進級することを楽しみにしている姿は、ご家庭でもありますか? 自分でできることを増やしていき、自信をもって進級を迎えられるようにしましょう。ご家庭では、着替えは自分でできるか、食具は正しく持つことができているかなど、身の回りのことをひとつひとつ確認し、できないところは見本を見せたり一緒に練習をしたりして、自分でできるよう支えていきましょう。

4歳児 くま組

先日の音楽会や保護者会への参観ありがとうございました。はりきって行事に取り組んだり、学級の友達と一緒に楽器を鳴らす楽しさを感じたりしていました。自分で選ぶ遊びの中でも、自分の思いをぶつけ合いながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じています。年長組との交流を通して、「僕たち私たちは、もうすぐぞうぐみ!」と感じていて、期待が膨らんできています。年長組への憧れをもって当番活動やお別れ会などの活動を進めながら、くま組としての日々を過ごしていきます。

<今月のねらい>

○友達と互いに思いを伝えたり受け止めたりして、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

○友達とやりとりを楽しみながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさや、友達とのつながりを感じる。

○保育者や友達と一緒に学級の活動にはりきって取り組む中で、進級への期待をもつ。

<家庭との連携>

ご家庭でも子供園で使ったコップやお弁当箱等を自分で出したり、翌日の準備を保護者の方と一緒にしたりして、自分のことは自分でしていこうとすることを、少しずつ増やしていきましょう。自分でできることが自信となるように認めていき、進級を楽しみにできるようにしましょう。

5歳児 そう組

先日は、音楽会へのご参加ありがとうございました。子どもたちは気持ちを合わせて合奏をしたり、歌ったりする楽しさを十分に味わうことができました。音楽会が終わってからも、自分たちで合奏を考えたり、知っているメロディを鳴らしたりすることを繰り返し楽しんでいきます。

学級全体で、「修了までにみんなでしたいこと」を話し合いました。今まで楽しんできた遊びをみんなですること、友達とのつながりを感じたり、自分たちが成長したことを感じたりしています。「幼稚園で遊んで楽しかった！」「そう組のみんなが大好き！」という思いをもって、修了し、自信をもって就学に向かえるよう、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

<今月のねらい>

○友達と一緒に遊びを進めていく中で、学級の友達とのつながりを深める。

○生活や遊びに見通しをもち、自分たちで進めていく充実感を味わう。

○就学への喜びや期待感をもち、進んで行動しようとする。

<家庭との連携>

修了まで残り僅かとなりました。限られた時間の中で修了に向けた取り組みや、子どもたちのやりたい活動等、様々なことを予定しています。その一つ一つが自信とつながっていくよう指導していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

ほしグループ 長時間保育

日が延びて、園庭で遊べる時間も長くなりました。全学年の子どもたちが一緒にむっくりくまさんや氷鬼をしました。その中で、くま組・そう組の幼児はうさぎ組さんに優しくタッチしてくれたりゆっくり追いかけたりして異年齢児との関わりを楽しみました。

うさぎ組は、気になる幼児と一緒に遊びたいという思いが少しずつ出てきました。「～くん・ちゃん一緒に遊ぼう！」と同じクラスの幼児に声をかけて、砂場や追いかっこをして遊び始めるようになりました。くま組は、みんなのへやの折り紙に挑戦していました。保育者と雪だるまをつくり、完成すると折り紙の楽しさを感じて、幼児一人でも繰り返しつくっていました。そう組は、休息の時間に毛糸を使ってリリアンをしました。毎日少しずつ長くなっていくことが嬉しくて、一生懸命編みました。でき上がったマフラーを笑顔で保育者に見せてくれています。

今年度も残すところ1か月となりました。長時間保育の時間が充実するように、引き続き季節にあった製作や遊具を用意して環境を整えていきたいと思います。